



堺市提供

堺市について

堺市は大阪府の中南部に位置する政令指定都市で、面積149.83km²、人口は約80万人（令和7年時点）という府内第2位の規模を誇ります。堺市域には旧石器時代から定住の痕跡が残り、古墳時代には百基を超える古墳群（現存は44基）が築かれました。中でも5世紀中頃に造られた仁徳天皇陵古墳は、日本最大の前方後円墳として知られています。

平安時代には摂津・河内・和泉の三国の境に位置していることに由来して「さかい」と称され、鎌倉時代には漁港として、室町時代から戦国時代にかけては海外貿易港として発展しました。当時、世界でも珍しい環濠都市を形成し、自治都市として繁栄しました。堺市は、伝統的なものと現代的なものが融合する魅力的な街として発展を続けています。

仁徳天皇陵古墳



仁徳天皇陵古墳は日本最大の前方後円墳で、上空から見ると円形と四角形を合体させた日本独自の形をしています。5世紀中ごろに約20年をかけて築造されたと推定されています。

旧堺燈台



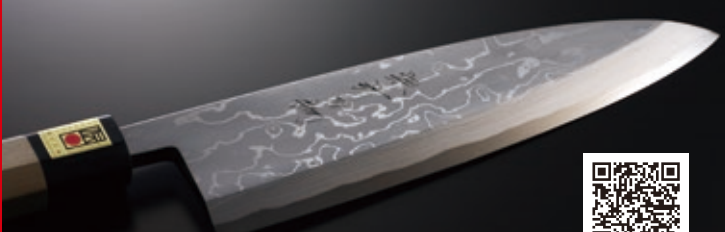
旧堺燈台は堺旧港の突端に位置し、1877(明治10)年に建築されました。建築から約1世紀のあいだ大阪湾を照らし続けた洋式木造灯台としてはわが国で最も古いもののひとつとして、国の史跡に指定されています。

さかい利晶の杜



堺出身の千利休と与謝野晶子に関する展示見学のほか、堺に根付く茶の湯文化が体験できます。堺市の観光情報や、堺ならではのお土産も取り揃えています。開館時間／9時～18時（入館17時30分まで）

刃物



人生の相棒になる「きれあじ」



詳しくはこちら

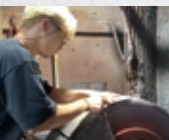
堺打刃物は、鍛冶屋・刃付屋・木柄屋・問屋が各工程を分担する分業体制のもとで製作される伝統的工芸品です。素材の精選から鍛造、刃付け、木柄の加工、最終仕上げに至るまで、各職人の高度な技術と経験が注ぎ込まれています。その結果、鋭利な切れ味と耐久性に優れた製品が生み出され、国内外から高い評価を得ています。



田中打刃物製作所(鍛冶屋) [MapA]

砂鉄や炭で作られる玉鋼にルーツを持つヤスキ鋼を鍛造によって鍛え、藁や炭や水を使った熱処理を行うことによって鋼の性質を最大限に引き出しています。

住所：堺市堺区柳之町西2丁1-1
TEL:072-238-1756



味岡刃物製作所(刃付屋) [MapA]

玉鋼を用いた鍛錬と自作の道具で仕上げる繊細な技術で、刃の薄さや表面の粗さを細かく調整し、感動の切れ味を実現しています。経験を活かし、真心を込めて制作しています。

住所：堺市堺区北向陽町1丁3-23
TEL:072-233-0897



和泉利器製作所(問屋) [MapA]

文化2年創業。220年の歴史をもつ堺最古の問屋として職人の包丁を料理人に届け、日々の調理を支えています。堺刀司庵丁歴史資料館が併設されており見学できます（要予約）。

住所：堺市堺区九間町東1丁1-5
TEL:072-238-0888



福井(問屋・刃付屋) [MapA]

鍛冶屋と密に連携して仕上げと品質管理を行っています。自社ブランドのHADOは「モノづくりの魂」を胸に、切れ味だけではなく持つ感動を与える包丁を追求しています。住所：堺市堺区九間町東1丁1-10
TEL:072-227-0001



注染・和晒



くらしを彩る堺の染めと晒



詳しくはこちら

堺市は、石津川の水を活かして発展した伝統的な注染・和晒の街です。まず和晒で布を白く整え、注染では染料を染み込ませて奥行きのある色を表現、捺染では専用の機械を使って柄や色彩を緻密に表現します。これらの技術は職人の手仕事によって支えられ、今日でも生活や文化を彩る製品として受け継がれています。



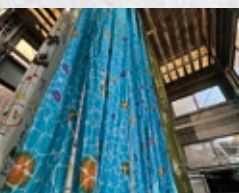
武田晒工場 [MapB]

伝統的な和晒技術を継承し、自社ブランド「さささ」で伝統的和晒の柔らかさや吸水性を活かした製品の良さを発信しています。

住所：堺市中区毛穴町197-2
TEL:072-271-0504



バツとギョッと「さささ」つと！生活のお供にこれ1枚！



ナカニ [MapB]

晒生地に染料を注ぐ伝統の注染技法を用い、自社ブランド「にじゆら」で手染め布製品を現代の暮らしに届けています。

住所：堺市中区毛穴町338-6
TEL:072-271-1294

オンラインショップ: <https://nijiyura.net>



関大とのコラボ商品「フクロウお守り手ぬぐい」



竹野染工 [MapB]

全国で唯一、ロール捺染による両面染色の技術を持ち、自社ブランドの「hirali」でリバーシブルの色彩を楽しめる商品を販売しています。

住所：堺市中区毛穴町355-3
TEL:072-274-1900



リバーシブルで美しい色合いの「hirali」

和菓子



チンチン電車で甘味さんぽしませんか？



詳しくはこちら

堺は茶聖・千利休のふるさとで、茶の湯文化とともに和菓子文化が大きく発展し、職人たちは工夫を凝らして独自の菓子を生み出してきました。チンチン電車の線路沿いにも数多くお店が並び、季節や行事を彩りながら暮らしに潤いを与えています。歴史とともに発展した和菓子の街、堺でチンチン電車に乗って甘味さんぽしてみませんか？



浜寺創菓庵 美乃や [MapB]

明治42年創業の老舗和菓子屋が作るスイーツポテト！最高級のさつまいもを使用し、独自製法で仕上げることでたまらないホクホク感！

住所：堺市西区浜寺諏訪森町中2丁180
TEL:072-261-0407
営業時間：9:00～18:00
定休日：月曜日



福栄堂 [MapB]

明治40年の創業当初から続くみんなに愛される松露だんご！松露きのこがモチーフでふりふりもちり食感が最高！！

住所：堺市西区浜寺公園町2丁203
TEL:072-261-1677
営業時間：9:00～18:00
定休日：毎週木曜日



本家小嶋 [MapA]

天文元年(1532年)創業の超老舗店で店主はなんと21代目！長く人々に愛されてきた芥子餅をあなたも味わってみては？

住所：堺市堺区大町西1丁2-21
TEL:072-232-1876
営業時間：9:00～17:00（売り切れ次第閉店）
定休日：月曜日



堺の伝統産業について



詳しくはこちら

堺市はかつて「東洋のベニス」と呼ばれた一大貿易都市で、多くのヒトモノ・カネ・情報が集まりました。中世の堺は文化・技術の発信地で、日本第一の文化・先進都市として発展し、堺の職人・商人が活動の場を広げ、多くの技術や文化が全国に広まりました。こうした歴史から、日本を代表する様々な伝統産業が堺で生まれており「ものの始まりなんでも堺」と言われています。

例えば、近世初頭に始まった堺の刃物づくりは、鉄砲鍛冶や煙草庖丁、出刃庖丁の三つの流れから発展し、鉄砲鍛冶や刀剣鍛冶の技術を活かし、享保期には独占的地位を確立しました。また、堺の注染は天保時代（1831年～1845年）に始まり、江戸時代には手ぬぐいの一色染めが行われていましたが、1906(明治39)年には合成染料による多色染めの技法の開発に成功し、注染ゆかた発祥の地となりました。

長い歴史と技術の積み重ねにより、これらの産業は現在、「堺打刃物」「浪華本染め」として、国の伝統的工芸品に指定されています。



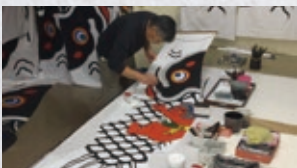
堺伝匠館

堺の伝統産業を一堂に集めた展示・販売・体験施設。堺の伝統産業に関する歴史、製法、道具等を展示するTAKUMI EXHIBITIONや、堺刃物ミュージアムCUTがあります。休館日：第3火曜日（但し、祝日の場合は翌日が休館）及び年末年始 ※その他臨時休館あり



緞通

緞通（だんつう）は、中近東から中国を経て日本に伝来した、数物の手織技術です。堺では、天保2年（1831年）堺の糸物商藤本庄左衛門が泉利兵衛に織らせて売り出したのが始めとされています。



鯉のぼり

明治初期に名古屋の紙鯉をヒントに大阪において初めて手描きによる鯉のぼりを作ったのが堺五月鯉幟（さかいごがつこいのぼり）の始まりです。真鯉に金太郎がまたがったデザインと立体的な構造が特徴です。

線香



香りでととのう暮らし



詳しくはこちら

堺は線香のはじまりの地であり、古くからその文化と技術を発展させてきました。厳選された天然香料を使用した堺の線香は、「香りの芸術品」と称され、大阪府の伝統工芸品にも指定されています。現在では仏事に限らず、香りを楽しむ文化としても親しまれており、リラックスや気分転換の道具として、暮らしの中に溶け込む身近な存在となっています。



奥野清明堂 [MapA]

享保年間創業。「香を通じて、感謝と誇りを追求し新しい感動を伝え続ける」ことをスローガンに、先祖から受け継がれる伝統を大切にしつつ、新たなものづくりにも取り組む老舗の線香店です。なんと関大生とのコラボ商品もあります！

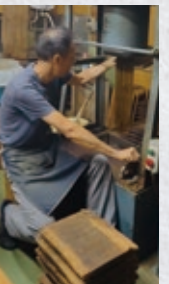
住所：堺市堺区市之町東6丁2-15
TEL:072-232-0405



関大生コラボ商品

上野ゼミ

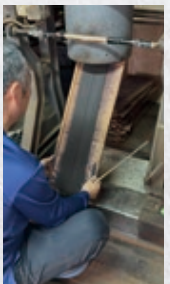
今井ゼミ



薫明堂 [MapA]

文化年間（約200年前）に創業以来、昔ながらの調合の仕方で、創意と工夫を重ねながら、他では作れない香りを生み出しています。長年の技術と研究により、現在多くの製品を展開しています。

住所：堺市堺区材木町西2丁1-29
TEL:072-229-6662



住所：堺市堺区南向陽町1丁2-20
TEL:072-232-6334

東芳堂 [MapA]

約130年前に創業。受け継がれる製法で、現在も天然香料を使って丁寧に手作りにしています。寺院で使われるものから、日常に使えるものまで、幅広い用途のお線香を製造しています。

昆布



受け継がれる旨み、職人の昆布



詳しくはこちら

堺市では、北海道から届いた昆布を加工する産業が古くから発展しました。江戸時代後期、北前船によって運ばれた昆布を使い、とろろ昆布や白板昆布など多様な加工技術が生まれました。栄養豊富な昆布は保存食や薬として利用され、日本の食文化を支えました。真昆布・利尻昆布・日高昆布が使われ、大阪では「合わせだし」の文化が広まりました。



郷田商店 [MapA]

1946年に創業した80年以上の老舗で、北海道産の利尻昆布と真昆布を使用し、堺包丁を用いた伝統技法でおぼろ昆布やとろろ昆布を加工する、地域に根付いた昆布専門店です。工場見学も可能です（要予約）

住所：堺市堺区市之町東5丁1-23
TEL:072-222-6688
営業時間：9:00～17:00 定休日：土日

おぼろ昆布ととろろ昆布は、手すき特有の独特の風味がよく、滑らかな口当たりが魅力。ふんわり広がる旨味が美味しく、そのままでも料理に添えても上品な味わいが楽しめます。商品は郷田商店や梅田の阪神百貨店で購入可能です。

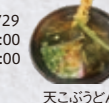


百福 [MapA]

つるりとした細麺と、香り豊かな出汁が自慢のうどん屋さん。郷田商店のおぼろ昆布が溶け込む『こぶうどん』『梅こぶうどん』『天こぶうどん』は、旨味が口いっぱいに広がります。出汁の味わいがじんわりと染みわたる、ほっとする一杯をお楽しみいただけます。

住所：堺市堺区熊野町東3丁1-8 TEL:072-229-0729
営業時間：[平日・土] 昼11:30～14:30 夜18:00～23:00
[日・祝] 昼11:30～14:30 夜18:00～22:00
（ラストオーダーは営業終了時間の30分前）

定休日：月曜日、第3火曜日



天こぶうどん

自転車



堺と自転車 ～技術と文化をつなぐ街～

堺の自転車産業は、明治期に輸入自転車の修理・部品生産から始まり、1916年に産業として成立しました。戦後は経済成長とともにシマノなどが技術革新を進め、1970年代以降は欧州レース市場進出により国際的地位を獲得しました。2001年にシマノからの寄付をきっかけに自転車の力を生かしたまちづくりが始まり、「自転車のまち」として多様な取り組みが展開されています。2005年に発足した市民団体「堺 自転車のまちづくり・市民の会」は、現在でも自転車の安全利用啓発活動を定期的に実施しています。



シマノ自転車博物館 [MapA]

住所：堺市堺区南向陽町2丁2-1
TEL:072-221-3196
営業時間：10:00～16:30

シマノ自転車博物館には、歴史と共に変化していった自転車本体が展示されています。19世紀初めから現在までの自転車の歴史を学ぶことができます。



展示だけではなく、地域の人々にサイクリングの楽しさを啓発するイベントを定期的に開催しています。（写真はサイクリングイベント「自転車散歩」）



自転車のギアを変える体験や、ブレーキをかけてから効いてくるまでの仕組みを知ることができる体験場があります。